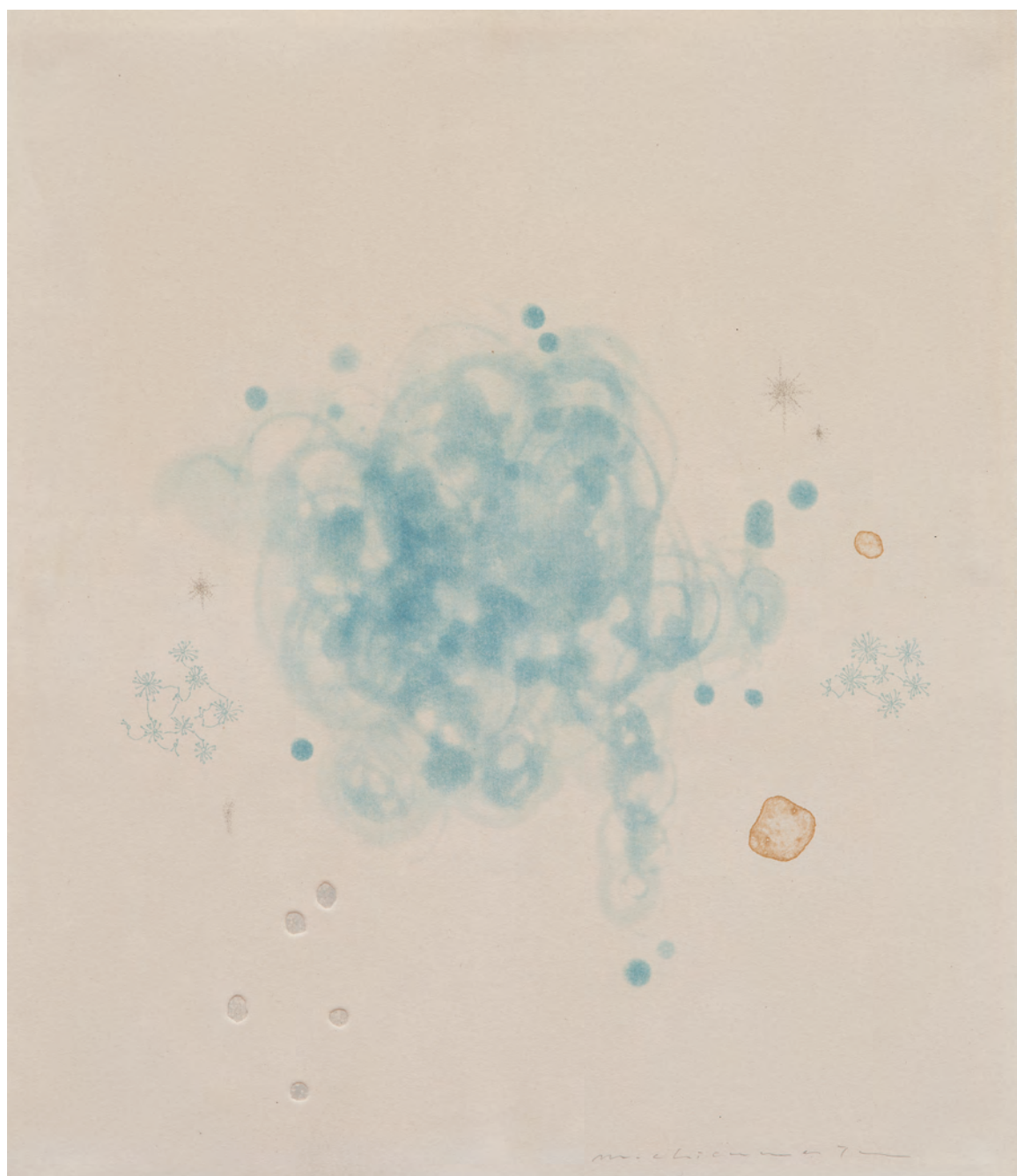


近松素子展「すくいあげる」



別荘地のバラソル（2014年）

2014年

9月19日（金）

10月18日（土）

月～土 午前9時～午後6時

日・祝 午前9時～午後5時

関連イベント

対談 「版で表現するという事」

ゲスト 神野立生（銅板画家）

×
近松素子（出展作家）

進行役 服部正（甲南大学文学部）

10月5日（日）午後1時～午後3時

甲南大学511教室

甲南大学（5号館1階）

ギャラリー・パンセ

〒858-8501

神戸市東灘区岡本8-9-1

Galerie
ギャラリー・パンセ
Pensee

近松素子展「すくいあげる」

会期 9月19日（金）～10月18日（土）

開場時間 月～土曜日：午前9時～午後6時 日、祝日：午前9時～午後5時 会期中無休

展覧会趣旨

甲南大学では毎年、国内外で活躍している作家による展覧会を行っています。今年は「近松素子展—すくいあげる」を開催いたします。神戸出身の近松素子（ちかまつ・もとこ）さんは、銅版画の技法を用い、ここ数年はモノタイプの作品などで活躍中です。作品は、和の雰囲気を感じさせ、落ち着いた気品を漂わせます。版画でありながら、いくつもの技法を組み合わせ創られるこれらの作品は、ひとつとして同じものではありません。

制作に寄せて

私は複数の版を使い、刷りを何度か重ねてイメージを創りあげていきます。刷りを進めて行く中で、最初に予定していたものと大幅に変わる事も少なくありません。

創ろうとしているものの、「絶対」を探しながら刷っているのかも知れません。

その「絶対」は1つなので、私の作品は版画でありながら、オリジナル1点という事がしばしばあります。

版と向かい、無限に広がる可能性から、その時の「絶対」をすくいあげるように制作しています。

近松素子

関連イベント

対談「版で表現するという事」

ゲスト：神野立生（銅版画家）× 近松素子（出品作家）

進行役：服部正（甲南大学文学部）

日時：10月5日（日）午後1時～午後3時

場所：甲南大学 511 教室（ギャラリー横）



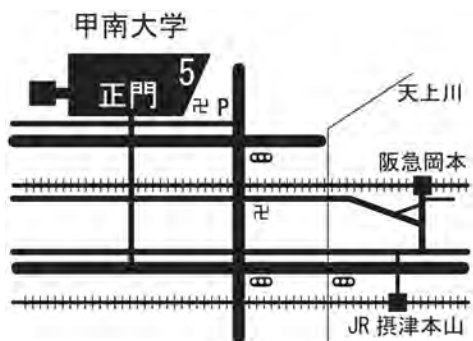
月はいつもひとり（2013年）



残像（2013年）



蜜のこと（2013年）



会場：甲南大学 5 号館 1 階
ギャラリー・パンセ
神戸市東灘区岡本 8-9-1

観覧料金：無料

お問い合わせ先

078-435-2572（服部）

078-435-2675（文学部事務室）